

令和5年度 秦野曾屋高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和5年4月27日(火) 17:30~18:30

場所 秦野曾屋高等学校 会議室

出席者(敬称略)

(委員) 反町聡之、山口正樹、梶山孝夫、加藤剛、佐野典文、関野浩子、内藤房薫、  
鳥海靖史、吉田正也

(事務局) 高橋正広、沼田伊里、甲斐正、大町友子、齋藤昂良、綿引俊哉、廣重直樹、  
川島聡、吉崎慎一郎、澤浦和香、党拓哉、高橋秀文

議事録

校長あいさつ

- 4月に着任した。委員と協力し、地域連携を推進していきたい。

学校運営協議会委員及び本校職員の紹介

(自己紹介)

学校運営協議会議事録の公開について

- 学校ホームページに公開する。

学校運営協議会委員会会長互選

- 反町氏に決定。

学校運営協議会委員会会長挨拶

- 形式的にならず、委員には忌憚のないアドバイスを述べていただけるようにしてほしい。

校長から秦野曾屋高等学校概要説明

- 学校と学校運営協議会、教育委員会が連携して、学校教育目標、スクール・ミッション等を設定し、カリキュラム・マネジメントを充実させている。
- 日ごろの教育活動の全てがカリキュラム・マネジメントに繋がっている。
- 今年度の学校の目標に関しては委員の先生方にご意見をいただいた上で、スタートさせたいと考えている。

- 県全体の動きとしては、高校入試出願の電子化や、スクール・カウンセラーとスクール・ソーシャル・ワーカーが週に1度の全校配置となっていることがあげられる。
- 次回の学校運営協議会の開催は10月31日（火）の14時半とし、6校時の授業を参観し、その上で、16時までの会議日程としたい。

本会の組織について（副校長）

- 評価部会（全員）と地域連携部会を設置する。

各グループ等の取組みについての報告

- 事務室
  - ・本年度は、トイレの改修工事、体育館等ガラス飛散防止対策工事、体育館等ガラス飛散防止対策工事を予定している。
- 学習支援グループ
  - ・昨年度より授業力向上推進重点校として3年間の指定を受け、よりよい授業づくりを推進している。
- 生徒会支援グループ
  - ・生徒は体育祭に向けて準備を進めている。
  - ・秋輝祭（文化祭）については9月9日に一般公開する予定である。
- 生活指導グループ
  - ・教育相談について重点的に取り組む予定である。
  - ・校則見直しについて、昨年度は地域連携部会を中心として協力していただいた。本年度についても継続してほしい。
- 進路支援グループ
  - ・今年度より3学年揃ってスタディサプリの活用という状況となっている。ICT活用の一貫としても推進しており、キャリアポートファイルについてもこの中に入れられるようにしたい。
- 広報情報・特色グループ
  - ・ホームページでの情報公開についても昨年度より迅速にアップデートしている。
  - ・福祉教育に関して、社会福祉協議会様と協力し活動する計画である。
- 管理運営グループ
  - ・今年度も避難訓練を実施する。また、火災時における行動に関する学習、DIG訓練等を計画している。

・PTAふれあい清掃は、今年度は活動を拡大することができそうである。その他のPTA活動についても徐々に通常の体制に戻っていくものと考えている。

委員からの質疑（○：委員、●：本校関係者）

- 女子の1年生の部活動加入率の傾向はどう分析しているか。
- 今年の入学生について男子の方が若干多い。そのため、相対的に女子の入部率が例年よりも低い。
- 高校入試のWEB申込みや、面接が選択制になるなどの情報もあるがこれについてはどうか。
- 今後さまざまな情報の発表予定があるため、県の正式発表までお待ちいただきたい。

#### 協議事項

令和5年度学校評価報告書（目標設定）について

- 達成状況を評価する観点について、「『学校の近隣で挨拶しようとしている』生徒」とあるが、どのように評価するか。
- アンケート調査を実施する。
- 曾屋塾について生徒の活用状況はどうか。
- チャレンジ精神のある生徒が活用している。そういった生徒は、英語の動画を作成するなど意欲的に活動をしている。
- 学校として、英検2級の取得を奨励している。英語の講座を取る生徒には、英検受験のために曾屋塾を活用している者もいる。
- 自治会として、コロナ禍の影響もあり寂しい状況もある。今年こそは今までのように部活動などと連携し地域の行事を盛り上げていきたい。
- リアリティショックを和らげる方策に関してGAP調査を活用しているようだが、「何に満足していないのか」というところはどのように把握するのか。
- 「どのような期待を持って入学したのか」という実態把握のアンケートを実施する予定である。
- 生徒の自己肯定感を高めることについては、高ければ高いほど自己中心的になるといったことにも注意してほしい。
- 外部機関と連携したインターンシップについてはどのようなものを考えているのか。
- 様々な業種に関してはかなり多岐にわたる。
- 同窓会としては、卒業生が1万人以上いるため協力したいと考えている

- ロータリークラブとしては交換留学生の支援もしており、こういった窓口も活用してほしい。
- キャリアパスポートの活用についてはいかがか。
- キャリアパスポートは紙ベースで運用してきたが、量も増え管理上の問題もあるため、電子化に向けて動き始めている段階である。
- 昨年度は、秦野曾屋高校のダンス部の生徒たちが、末広小学校でパフォーマンスした。今年度は、その他の部活動等とも連携していきたい。
- 学校の取組みの発信方法として、SNSを活用するのはどうか。
- 今後発信方法については検討したい。

以上、令和5年度学校評価報告書（目標設定）が承認された。